A semi-transparent globe with a red tint, showing the continents of Asia and Australia, is positioned on the left side of the slide.

2017年9月期 第2四半期決算説明会資料

2017年5月15日(東京)
5月17日(大阪)



1. 会社概要

2. 2017年9月期第2四半期決算サマリー

3. 今後の取り組み

(ご参考資料)



商号	IMV株式会社 [英文社名] IMV CORPORATION
会社設立	1957年(昭和32年)4月17日
資本金	4億6481万円
従業員数	314名 (2016年9月30日現在 連結)
年間売上高	103億7,465万円 (2016年9月期 連結)
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場
証券コード	7760
決算期	9月30日



グローバルネットワーク



Osaka 大阪



- ・本社
- ・大阪営業所
- ・技術本部
- ・大阪テストラボ

Tokyo 東京



- ・東京営業所
- ・東京エンジニアリングサービス部



- ・MESエンジニアリングサービス部
- ・東京テストラボ

Thailand タイ



IMV (THAILAND) CO., LTD.

China 中国



IMV CORPORATION
Shanghai Representative Office

Nagoya 名古屋



- ・名古屋営業所
- ・名古屋テストラボ

Uenohara 上野原



東京テストラボ
上野原サイト 高度試験センター

U.K. 英国



IMV EUROPE LIMITED



IMV EUROPE LIMITED
European Manufacturing Centre

Germany ドイツ



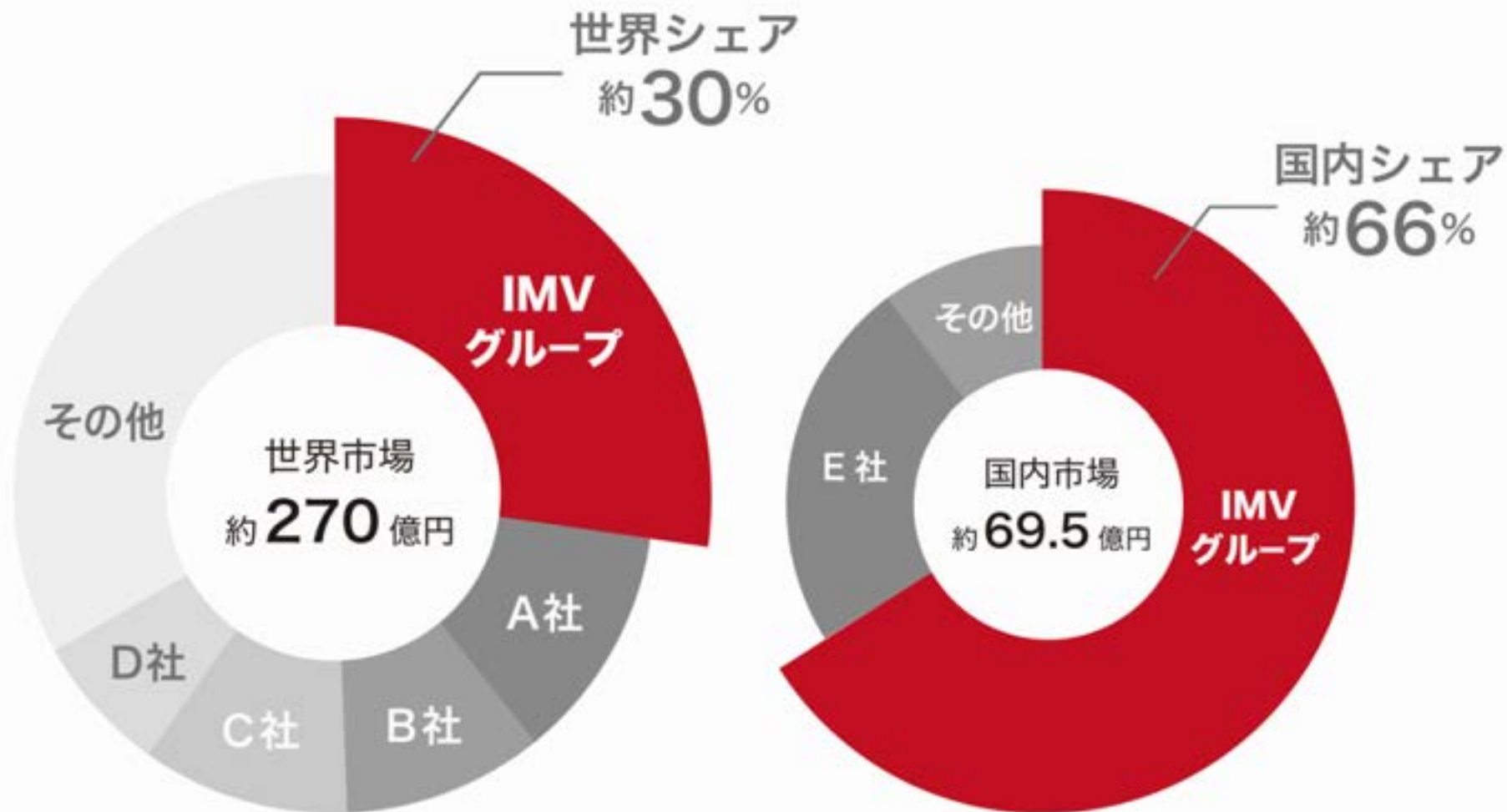
IMV EUROPE LIMITED
German Sales Office

U.S.A. アメリカ



IMV America, Inc.

IMV CORPORATION

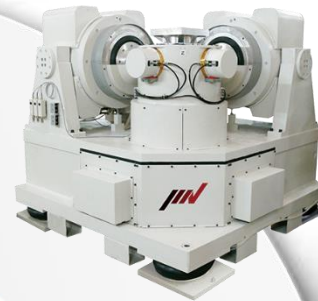


事業セグメント



メジャリングシステム

MES
Measuring
Systems

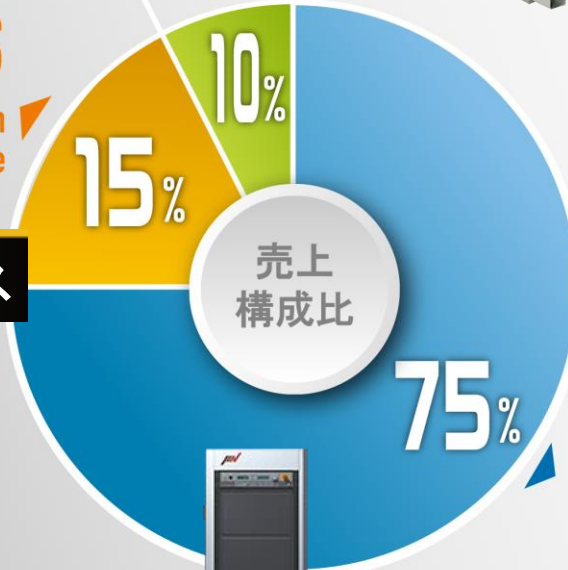


振動試験装置



TSS
Test & Solution
Service

テスト&ソリューションサービス



DSS
Dynamic
Simulation
Systems



57億8,198万円
(2017年9月期第2四半期 連結)



1. 会社概要

2. 2017年9月期第2四半期決算サマリー

3. 今後の取り組み

(ご参考資料)



(単位:百万円)

	17/9中間期 実績	16/9中間期 実績	コメント
売上高	5,781	5,466	主に、東京テストラボ上野原サイトにおける順調な稼働及び電機電子業界を中心に振動シミュレーションシステムの販売が順調に推移した結果、増収となりました。
経常利益	956	810	増収効果や円安による為替影響等により、前年同期比118.0%の増益となりました。
純資産	5,552	4,979	四半期純利益(662百万円)の計上により順調に増加しました。
フリーキャッシュフロー	△24	104	売上債権の増加等の減少要因により営業活動による収入が前年同期より減少したことで、フリーキャッシュフローは減少しました。
売上高経常利益率	16.5%	14.8%	増収効果や円安による為替影響等により、売上高経常利益率は改善しました。
自己資本比率	42.4%	40.7%	四半期純利益(662百万円)の計上により純資産が増加し、財務安全性がさらに向上しました。
自己資本四半期純利益率 (ROE)	12.5%	10.9%	四半期純利益(662百万円)の計上により、自己資本四半期純利益率は向上しました。

決算概要(連結)



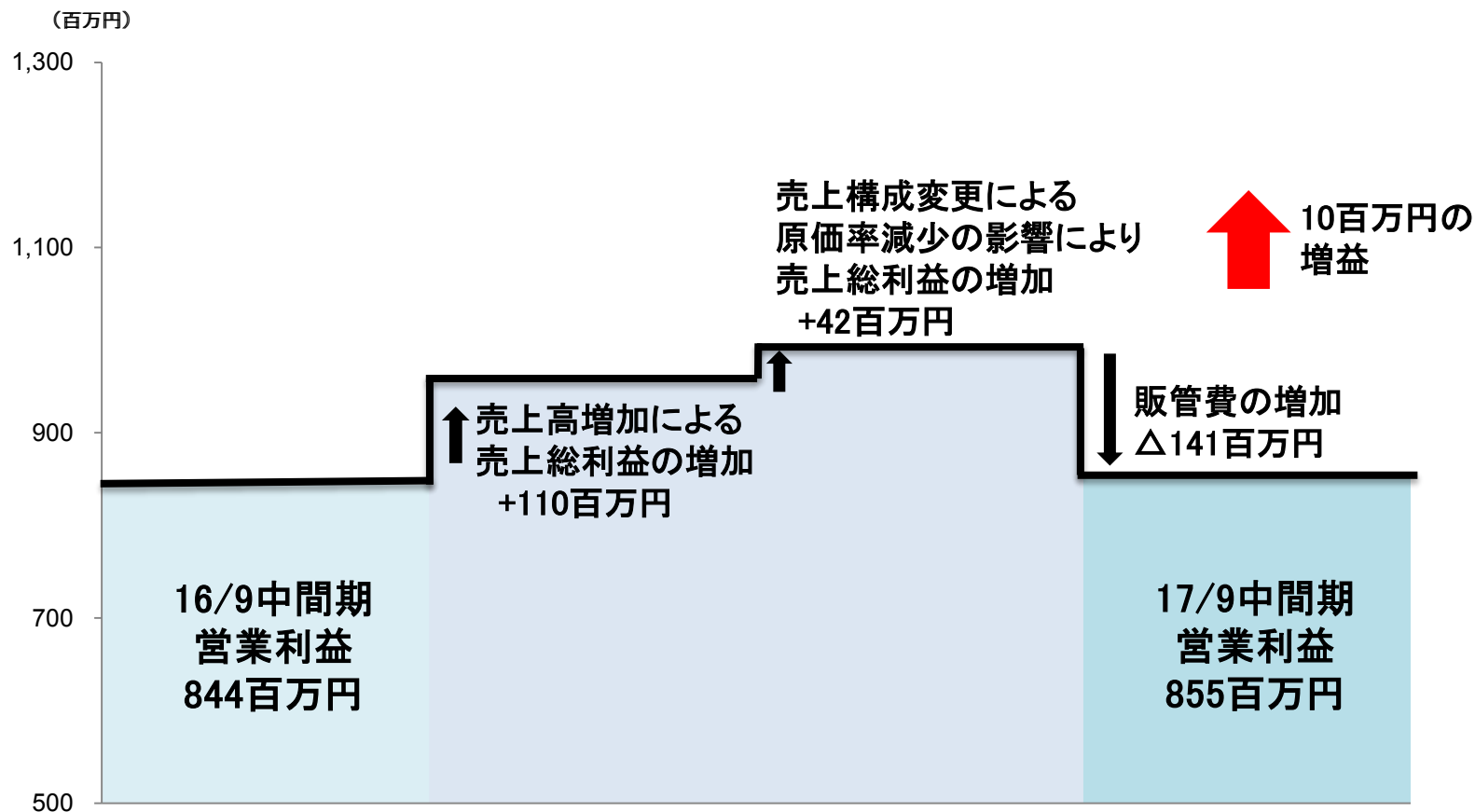
(単位:百万円)

	17/9中間期 実績	16/9中間期 実績	増減額	増減率	17/9中間期 予想	増減率
受注高	4,891	5,307	△415	△7.8%	—	—
売上高	5,781	5,466	+315	+5.8%	5,500	+5.1%
営業利益 (営業利益率)	855 (14.8%)	844 (15.4%)	+10	+1.3%	850 (15.5%)	+0.6%
経常利益 (経常利益率)	956 (9.2%)	810 (14.8%)	+145	+18.0%	850 (15.5%)	+12.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (四半期純利益率)	662 (11.5%)	520 (9.5%)	+141	+27.2%	553 (10.1%)	+19.8%
設備投資額	296	295	+1	+0.6%	—	—
減価償却費	169	153	+16	+10.9%	—	—
研究開発費	296	246	+50	+20.5%	—	—
従業員数(人)※	307	307	+0	+0.0%	—	—

※△は損失、減少を表します。従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

売上高は前期比315百万円増収の5,781百万円となりました。増収効果や円安による為替影響もあり、営業利益は前期比10百万円増益の855百万円、経常利益は前期比145百万円増益の956百万円となりました。四半期純利益は前期比141百万円増益の662百万円となりました。

営業利益増減要因(連結)

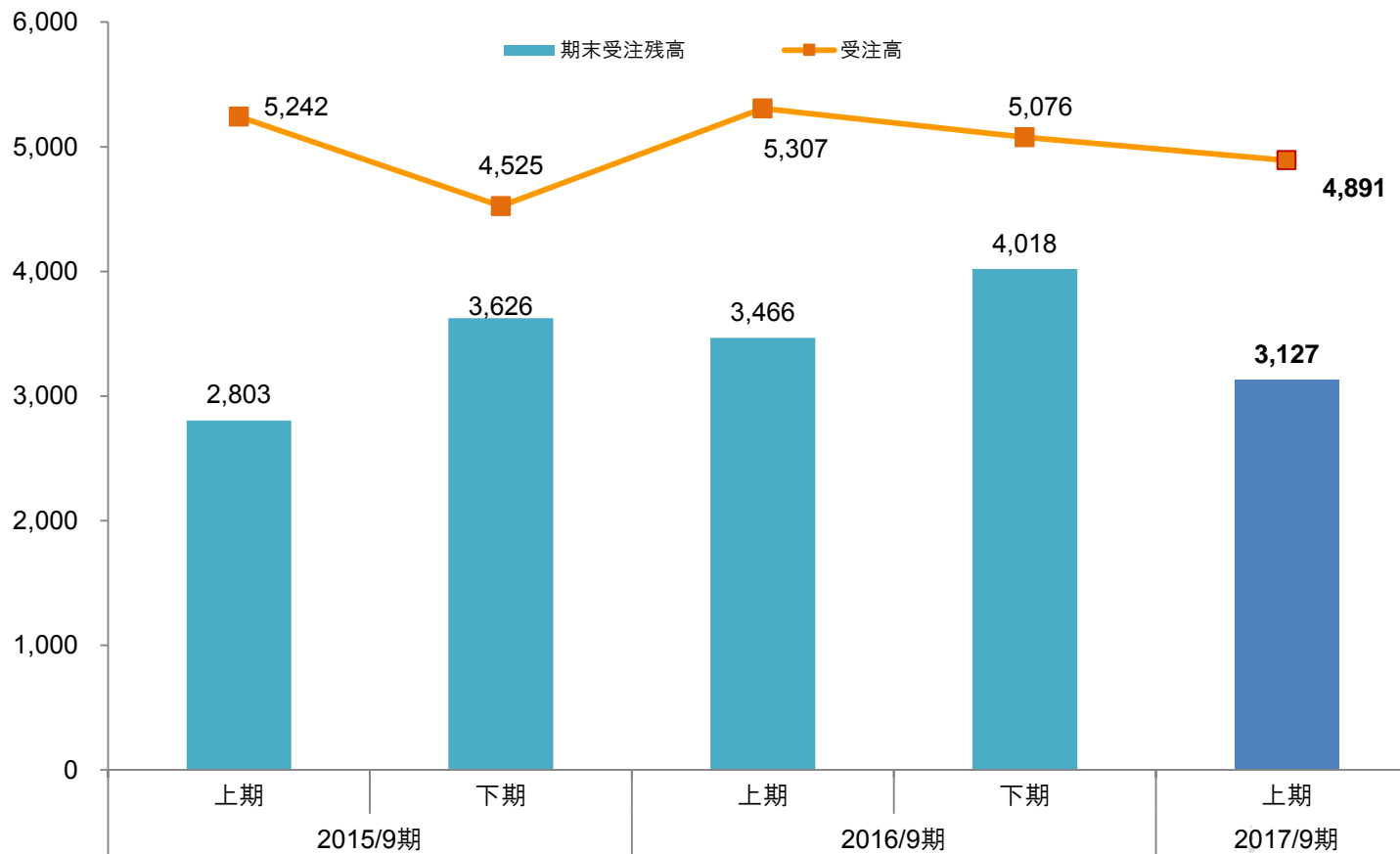


人員増加による労務費の増加、新製品開発による研究開発費の増加等により販管費が増加しましたが、増収による売上総利益の増加が大きく、営業利益は855百万円の増益となりました。

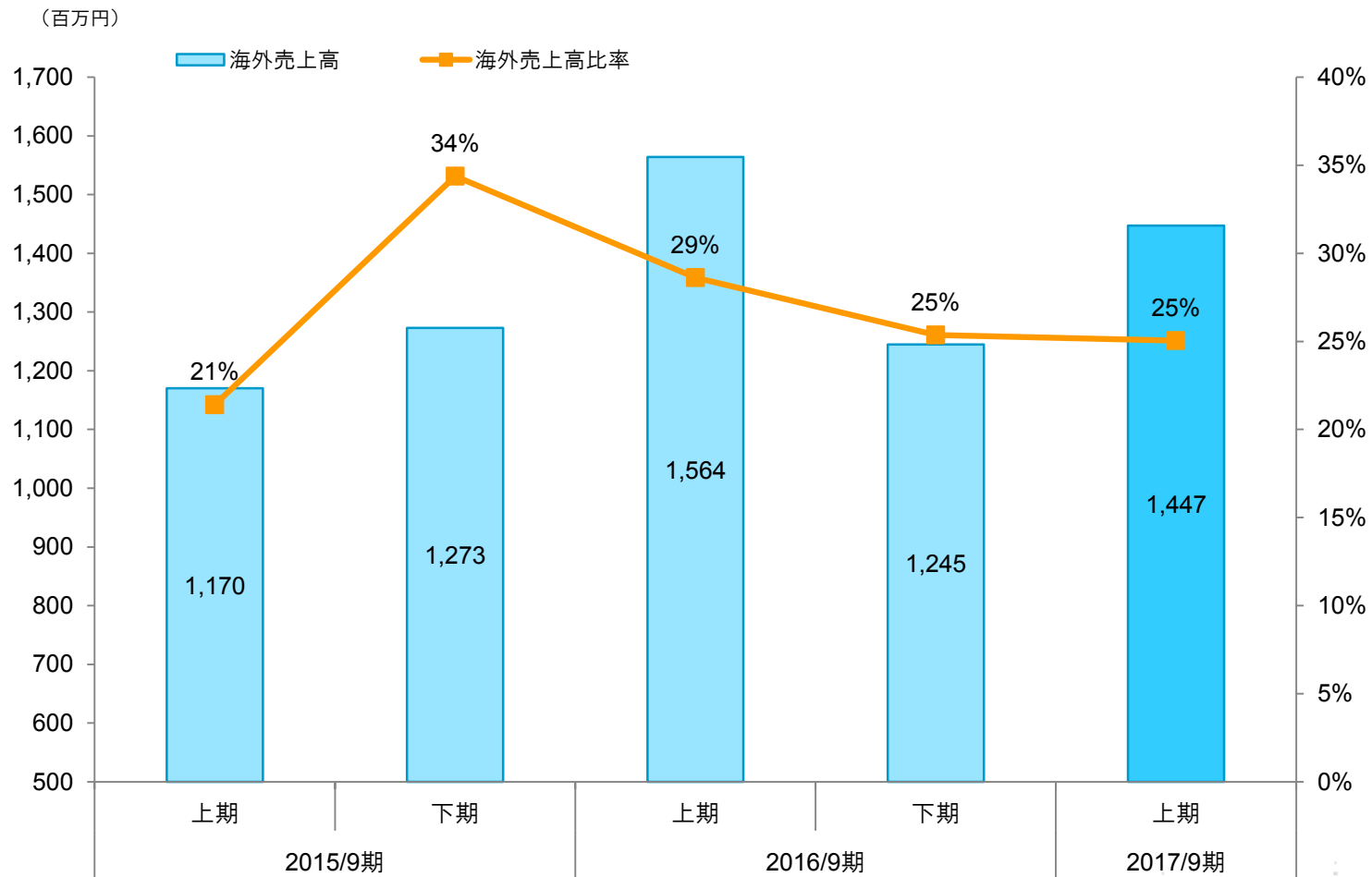
受注の状況



(百万円)

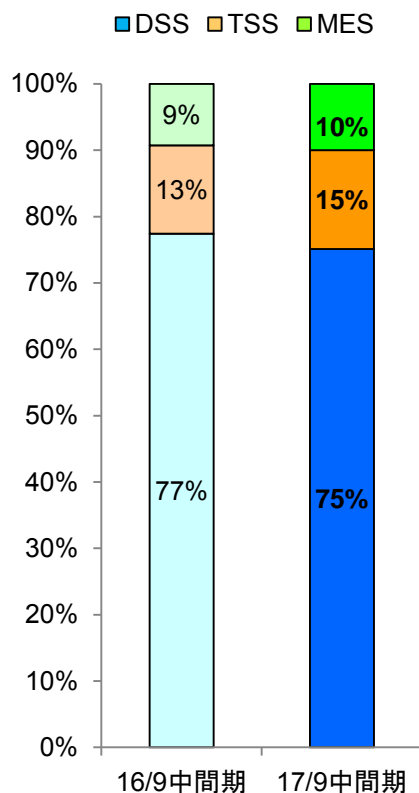


海外売上高比率の増減

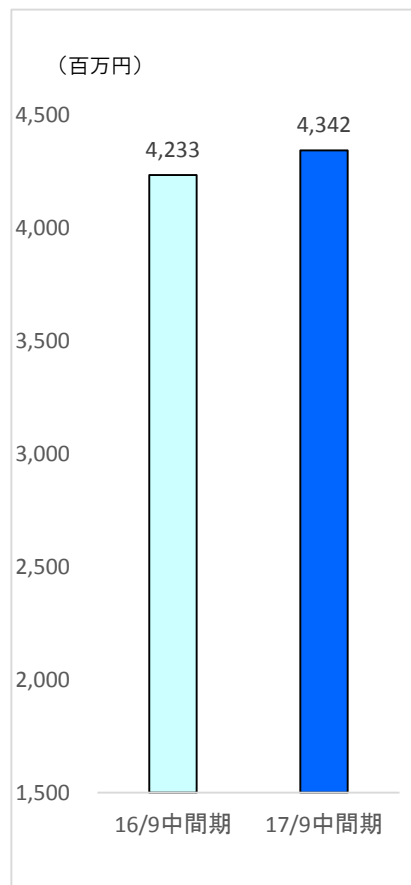




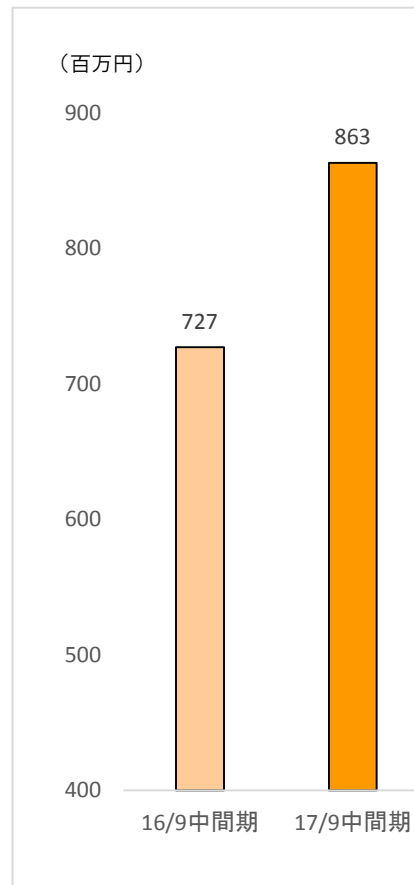
○ 品目別売上構成率



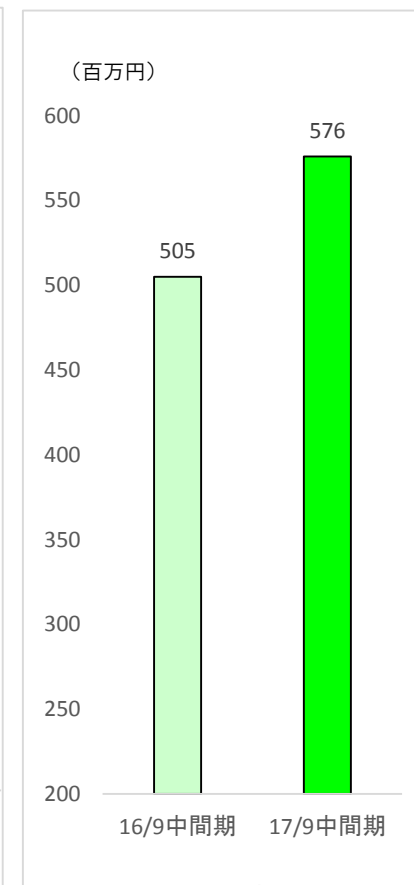
○ DSS事業



○ TSS事業



○ MES事業



すべての品目において国内を中心に順調に売上高が増加しております。また、TSSは順調に中間期における過去最高売上高を更新しております。

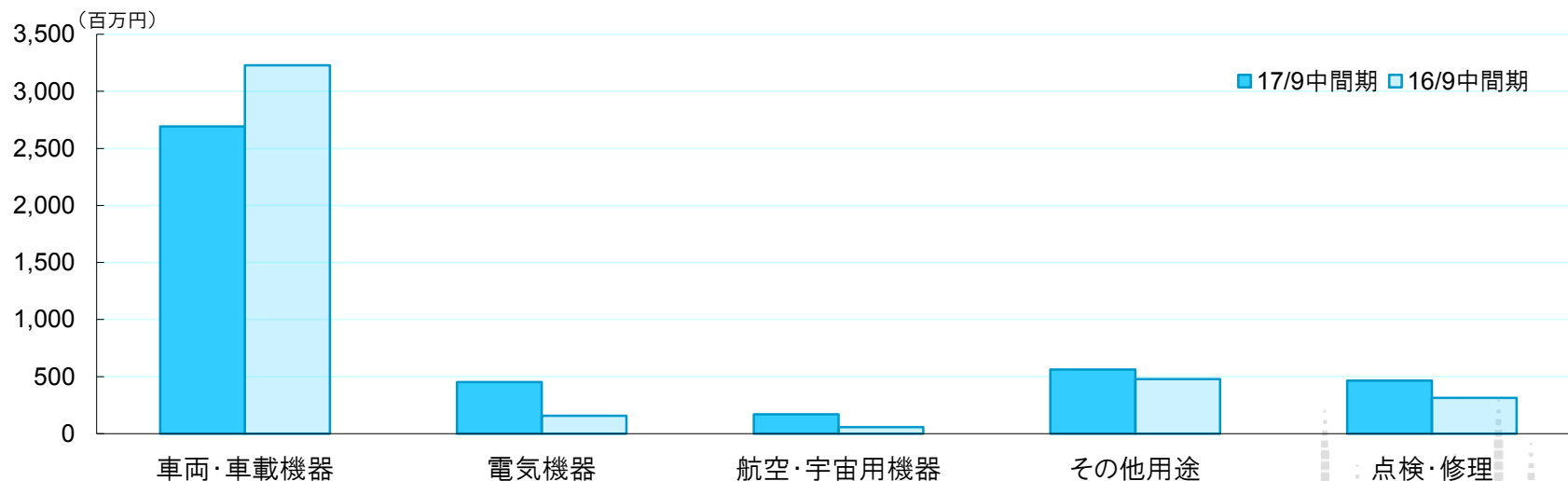
DSS事業 ～概況～



(単位:百万円)

	17/9中間期	16/9中間期	増減額	増減率
車両・車載機器向け	2,472	3,229	△756	△23.4%
電気機器向け	537	157	+380	+241.5%
航空・宇宙用機器向け	169	57	+112	+196.8%
その他用途向け	696	477	+218	+45.8%
点検・修理	466	312	+154	+49.3%
合計	4,342	4,233	+108	+2.6%

- 国内における大型案件がなかったことや、海外向け売上の3Q以降への期ズレ等により車両・車載機器向けの売上は減少しました。また、電気機器向けは案件数が順調に増加し、売上は増加いたしました。
- 点検・修理に関する売上が順調に推移し増加いたしました。



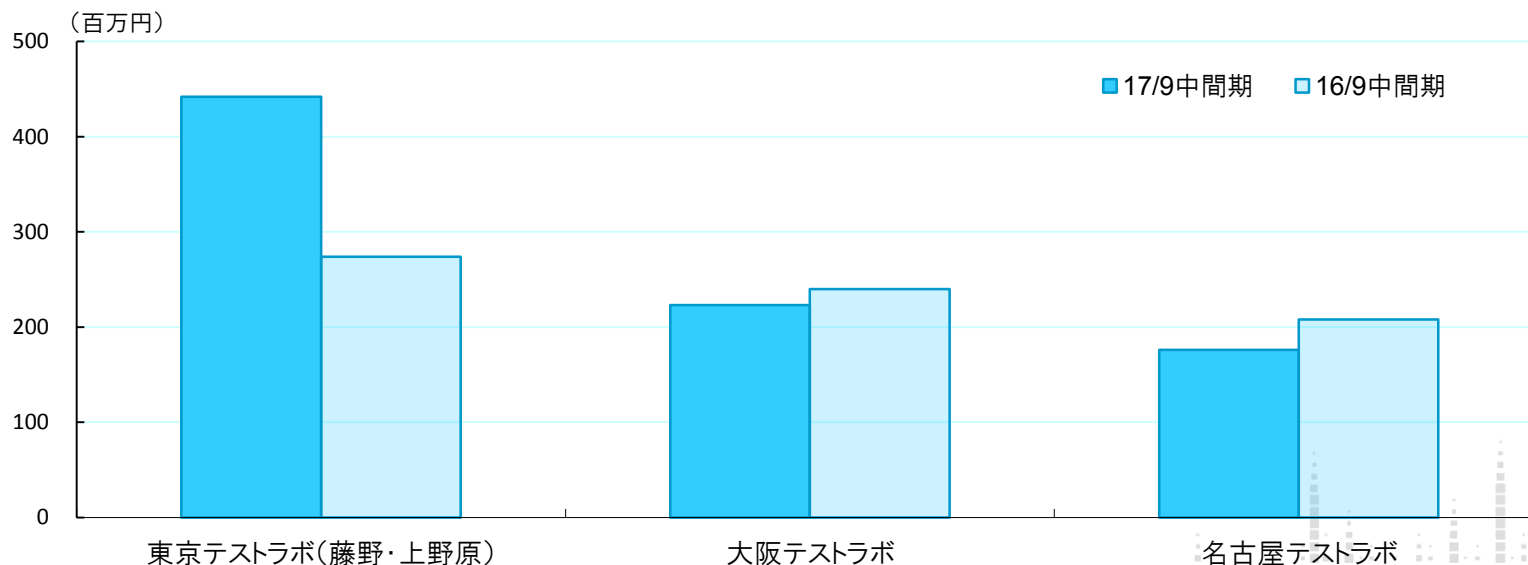
TSS事業 ～概況～



(単位:百万円)

	17/9中間期	16/9中間期	増減額	増減率
東京テストラボ (藤野・上野原)	442	274	+168	+61.3%
大阪テストラボ	223	240	△17	△7.4%
名古屋テストラボ	176	208	△31	△15.3%
子会社外部売上	21	3	+17	+461.1%
合計	863	727	+135	+18.7%

- 東京テストラボ上野原サイトは、順調な稼働により、前年度比+61.3%となりました。
- 大阪テストラボは、一部案件が3Q以降に期ズレしたこと等により、売上は減少となりました。
- 名古屋テストラボは、東海地区における市場への新規参入企業が続ки、競争が厳しくなっております。その結果、売上は減少となりました。



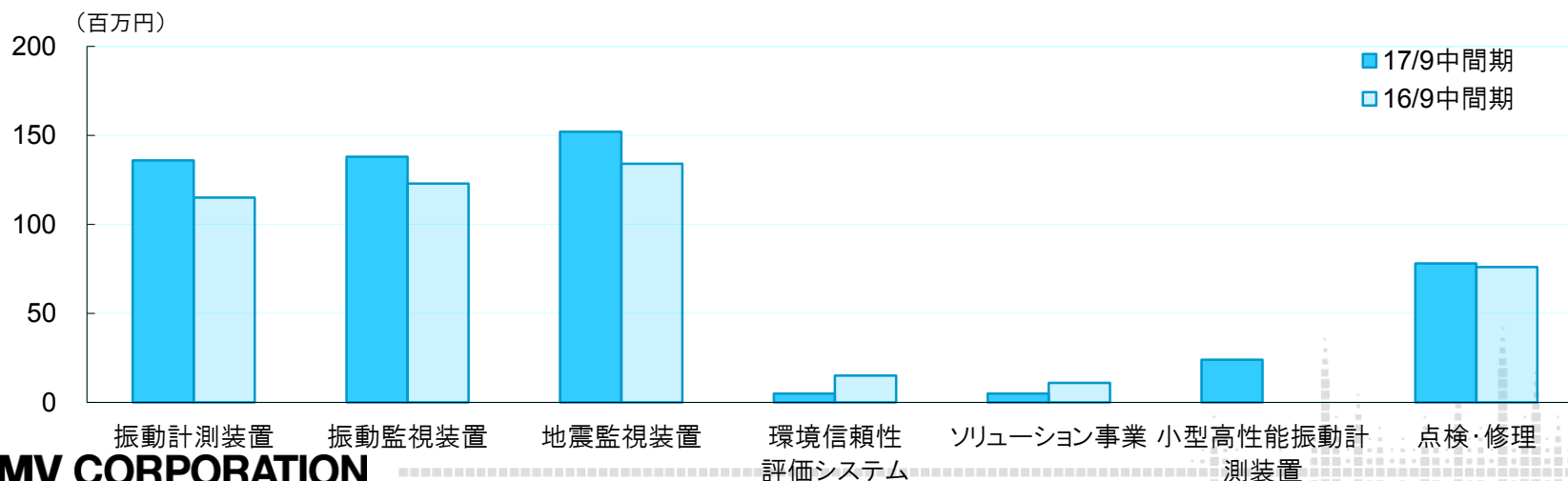
MES事業 ～概況～



(単位:百万円)

	17/9中間期	16/9中間期	増減額	増減率
振動計測装置	136	115	+21	+18.4%
振動監視装置	138	123	+15	+12.5%
地震監視装置	152	134	+18	+13.6%
環境信頼性評価システム	5	15	△9	△61.9%
ソリューション事業	5	11	△6	△52.5%
小型高性能振動計測装置	24	-	+24	-
点検・修理	78	76	+1	+1.8%
子会社外部売上	33	28	+5	+17.7%
合計	576	505	+70	+13.9%

- 中国・台湾・フィリピンへの地震監視装置の販売が順調に推移いたしました。
- 国内において発電所向けの振動監視装置の販売も順調に推移いたしました。
- 小型高性能振動計測装置の販売を開始いたしました。



業績の見通し(連結)



(単位:百万円)

	17/9期 予想	16/9期 実績	増減額	増減率
売上高	10,800	10,374	+425	+4.1%
営業利益 (営業利益率)	1,150 (10.6%)	1,080 (10.4%)	+69	+6.5%
経常利益 (経常利益率)	1,200 (11.1%)	954 (9.2%)	+245	+25.7%
親会社株主に帰属する当期純利益 (当期純利益率)	780 (7.2%)	583 (5.6%)	+196	+33.8%
設備投資	511	582	△71	△12.1%
減価償却費	396	337	+59	+17.6%
研究開発費	561	486	+75	+15.4%
従業員数(人)※	325	314	+11	+3.5%
1株当たり配当金(円)※	7.0	7.0	-	-

※ 従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

※17/9期の配当金につきましては、2017年12月開催予定の定時株主総会において上記配当金を附議する予定です。



1. 会社概要

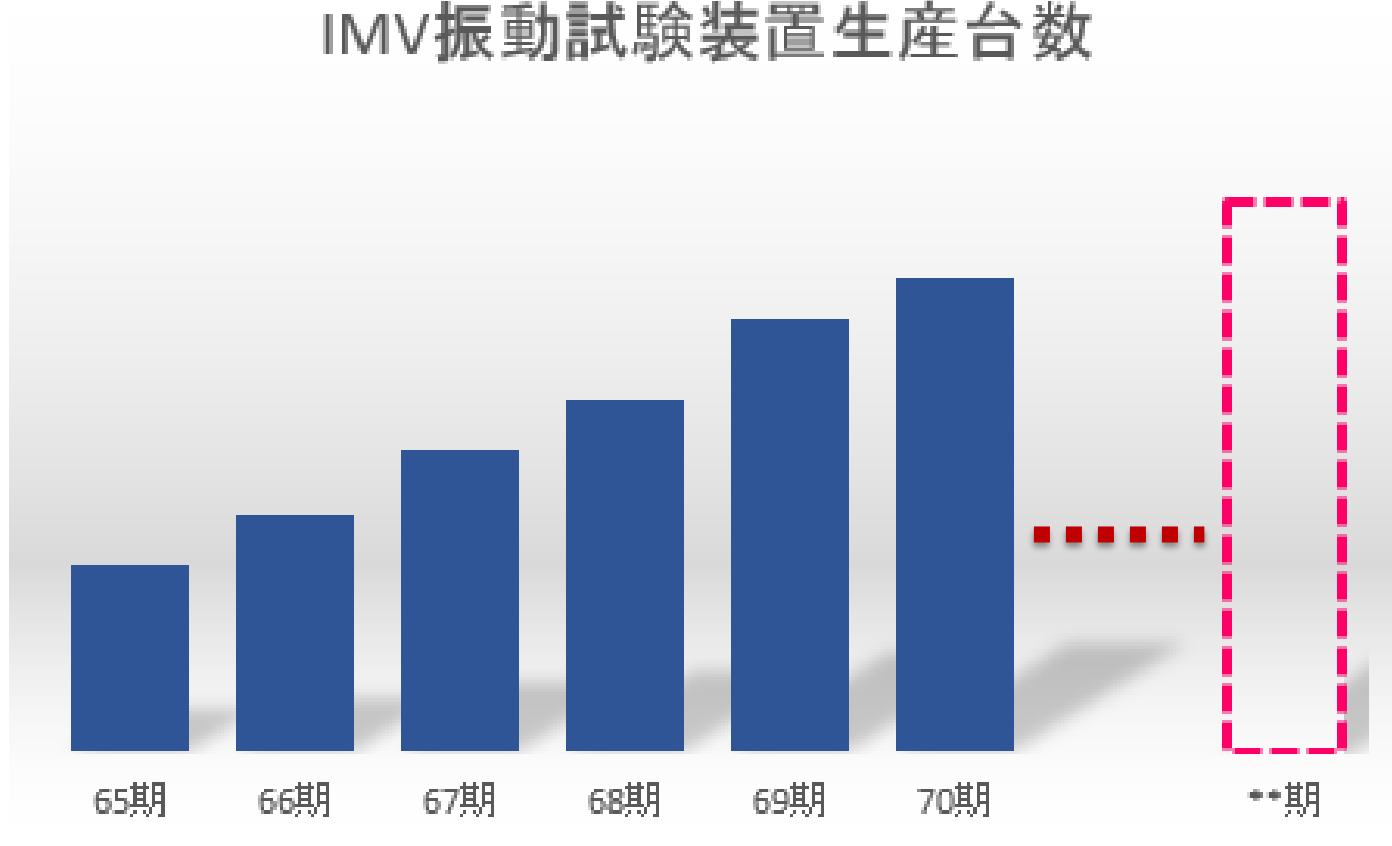
2. 2017年9月期第2四半期決算サマリー

3. 今後の取り組み

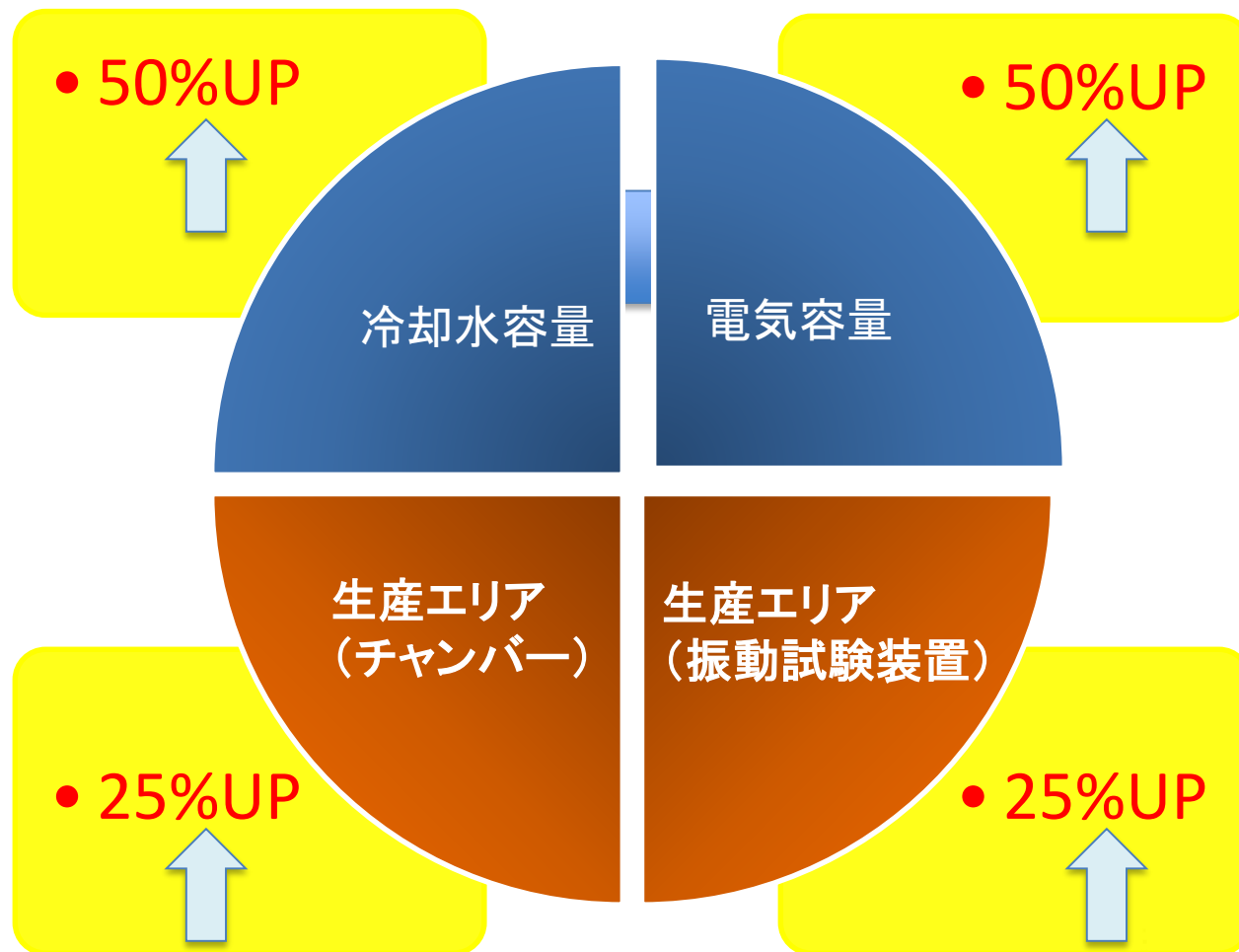
(ご参考資料)



IMV振動試験装置生産台数



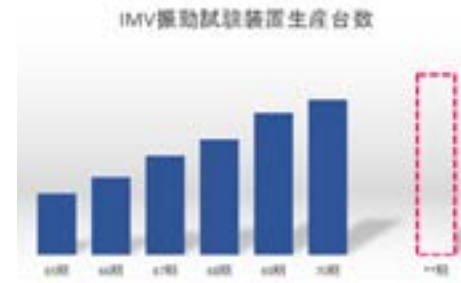
DSS取り組み: インフラ設備増強





DSS取り組み:生産管理及び納期管理の向上

- 生産台数増加対応に向け、
 - ①外注による納期短縮対策
 - ②職人技の機械化、等を実施



①外注による納期短縮対策

関西圏で数台しか存在しない最先端技術を集約した5軸加工機を導入
⇒従来、IMV対応不可能だった部品を生産

特に、重要部品である加振機テーブルは100%網羅することができる



- ・精度 1 μ m単位。
- ・直径80cmの大型部品まで対応可能。
- ・最大積載量 1500kg・ 24時間無人運転が可能。

②職人技の機械化

⇒生產品質の安定化と納期管理

(例) 振動発生機の重要部品である
駆動コイルの製造工程に着手



DSS取り組み:Aシリーズ新製品(74KN空冷式)



- イニシャルコスト及びランニングコストが安い空冷式シリーズの
世界最大級の大パワー(74KN)を有する空冷式新製品の発売決定



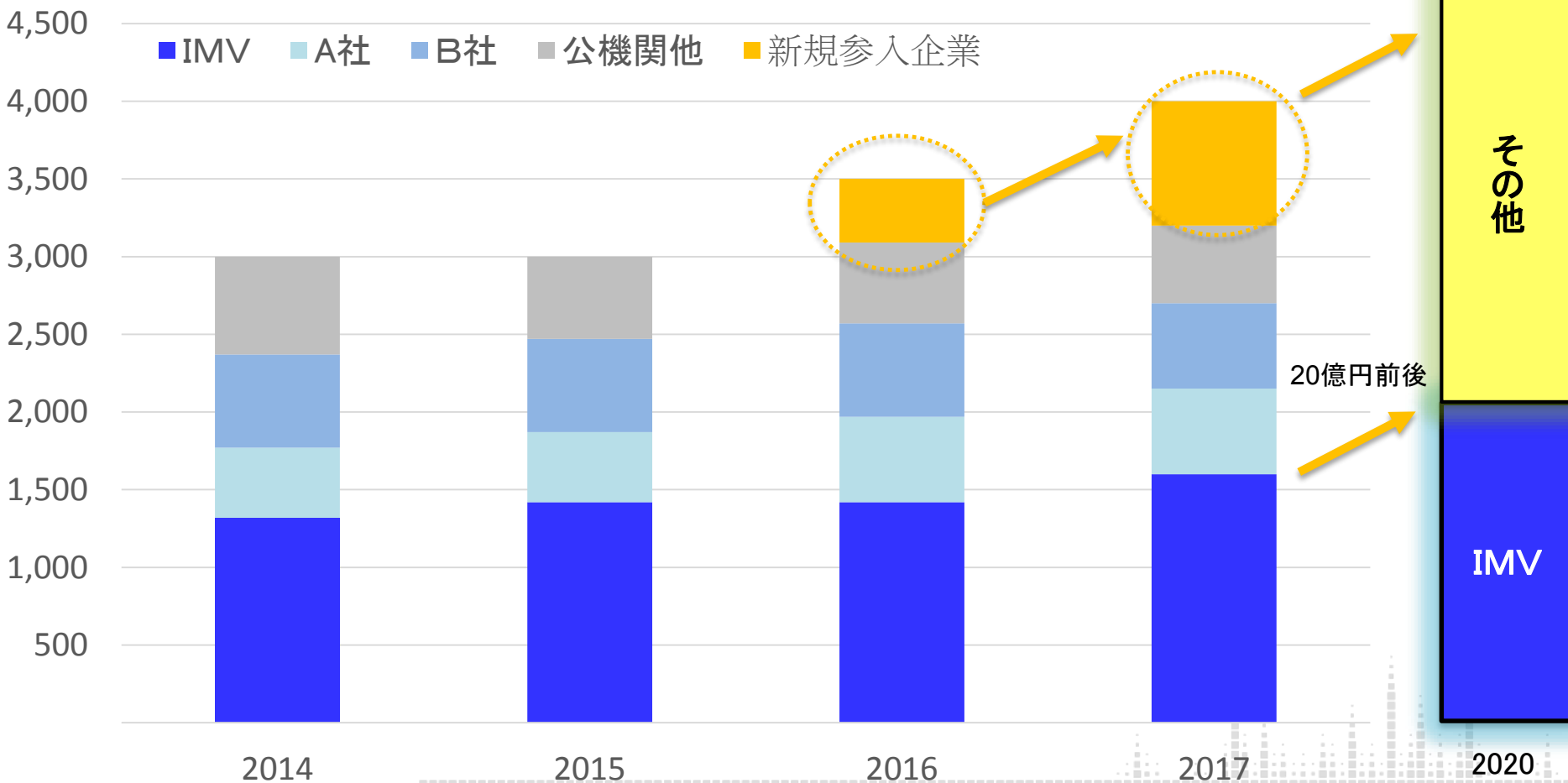
TSS取り組み：国内受託振動試験市場 弊社予想



- 新規参入企業の台頭により、市場環境は競争激化
⇒ 「IMVならではの!」(差別化)の創出

(百万円)

40~50億円





TSSの取り組み: 差別化の創出 ①

～ メーカーならではの強みを活かす ～

超高温下での振動試験への対応

⇒ 超高温電気炉複合振動試験装置を上野原高度試験センターに導入

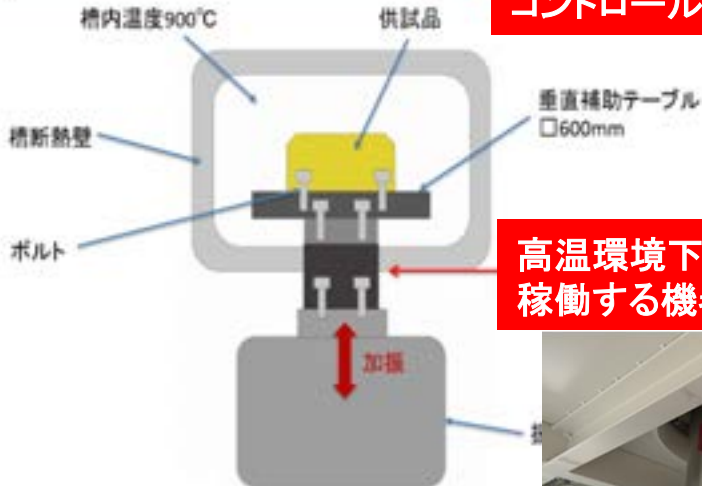
加速度センサーの限界温度を遥かに超えるため、センサーを供試品に設置できない

⇒ 制御装置を内製する強みを活かし、独自の仮想点制御機能によりセンサーを置くことなく、超高温下での加速度制御を実現



900°Cで使用可能な加速度センサー無し。

センサーなしで加速度を
コントロールする制御技術



高温環境下でも精度高く稼働する機器設計・生産技術



超高温(700~900°C)な熱を振動試験機に伝わらないようにする
⇒ 十分な断熱素材を組み合わせた特長ある構造の採用

TSSの取り組み:差別化の創出 ②

～ メーカーならではの強みを活かす ～



電池試験の国際標準 UN38.3 一括対応

T1	減圧
T2	温度
T3	振動
T4	衝撃
T5	外部短絡
T6	圧壊
T7	過充電(組電池)
T8	強制放電(セル)



TSSの取り組み:差別化の創出 ③

～ メーカーならではの強みを活かす ～



受託試験ノウハウ(ハード面)と仮想試験(ソフト面)の融合、営業提案力の強化

TSS

**受託試験ノウハウ
(ハード面)**



IMV先端技術研究所

**仮想試験
(ソフト面)**



**お客様
試験要望**



**試験
方法の
提案**

最適な試験運用





IoTで一気通貫

保全と防災

産業インフラ

- 設備機械の状態監視・診断
- 自動制御
- 行動指示



(IoT対応振動解析ユニット)



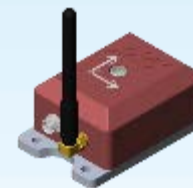
(振動ピックアップ)

社会インフラ

- 地震時の速報・被災度判定
- 自動制御
- 地震初動指示



(長周期振動
モニタリングシステム)



(無線型長周期振動
モニタリングシステム)



MESの取り組み:IoTで実現する振動ソリューション ～ 例:工場におけるIoT活用要素 ～



BCPの強化

- これからより注力される新市場への対応力強化

平常時

- 工場設備の安定稼動
- 製造品質の向上
- 生産効率改善

緊急時

- 従業員の安定確保
- 二次災害の防止
- 速やかな復旧



ありがとうございました



代表取締役会長

小嶋 成夫

代表取締役社長

小嶋 淳平

経営企画本部長

濱里 一也



■ お問い合わせ先

IR窓口：経営企画本部経理部 IR担当 大山 坂本

TEL：06-6478-2565

FAX：06-6478-2567

E-MAIL：imvir@imv.co.jp

<http://www.imv.co.jp>

○免責事項

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。



1. 会社概要

2. 2017年9月期第2四半期決算サマリー

3. 今後の取り組み

(ご参考資料)

貸借対照表の概要(連結)



(単位:百万円)

	17/9中間期末	16/9期末	増減額		17/9中間期末	16/9期末	増減額
流動資産	8,631	7,324	+1,306	流動負債	6,644	5,221	+1,422
現金預金	2,038	1,712	+326	仕入債務	2,699	2,174	+525
売上債権	4,332	3,360	+971	短期有利子負債	2,833	1,902	+931
棚卸資産	2,017	1,881	+135	その他流動負債	1,111	1,145	△34
その他流動資産	242	370	△127	固定負債	912	1,355	△442
固定資産	4,478	4,325	+153	長期有利子負債	598	1,038	△440
有形固定資産	4,114	3,981	+133	その他固定負債	313	316	△2
無形固定資産	67	73	△5	負債合計	7,556	6,577	+979
投資その他資産	296	270	+25	純資産合計	5,552	5,072	+480
資産合計	13,109	11,649	+1,459	負債・純資産合計	13,109	11,649	+1,459

資産の部 : 現金預金が326百万円増加し、売上債権が971百万円増加いたしました。

負債の部 : 仕入債務が525百万円増加し、短期有利子負債は931百万円増加いたしました。
長期有利子負債は440百万円減少いたしました。

純資産の部 : 純資産は480百万円増加いたしました。

キャッシュフロー計算書の概要(連結)



(単位:百万円)

		17/9中間期	16/9中間期	増減額
①	営業活動によるキャッシュ・フロー	310	374	△64
②	投資活動によるキャッシュ・フロー	△335	△270	△65
①+②	フリーキャッシュフロー	△24	104	△129
③	財務活動によるキャッシュ・フロー	328	△71	+400
④	現金及び現金等価物に係る換算差額	16	△19	+35
⑤	現金及び現金同等物の増減額	320	13	+306
⑥	現金及び現金同等物期首残高	1,444	1,399	+45
⑦	現金及び現金同等物期末残高	1,765	1,413	+351

営業CF : 税金等調整前四半期純利益955百万円及び仕入債務の増加481百万円等の増加要因が、売上債権の増加等の減少要因を上回ったことにより、310百万円の増加となりました。

投資CF : 東京テストラボ上野原サイトの設備投資等の有形固定資産の取得による支出339百万円等により、335百万円の減少となりました。

フリーキャッシュフロー: 有形固定資産取得による支出の増加等によりフリーキャッシュフローは△24百万円となり、前年同期比129百万円減少いたしました。

財務CF : 短期借入金の純増額による685百万円等の増加要因が、長期借入金の返済による支出193百万円及び配当金の支払いによる支出113百万円等の減少要因を上回ったことにより、328百万円の増加となりました。

沿革



- 1957 株式会社国際機械振動研究所(旧社名)を設立
- 1988 東京テストラボ開設
- 2005 ジャスダック証券取引所に上場
- 2011 10月、英国に IMV CORPORATION EUROPEAN TECHNICAL CENTRE を開設
(現 IMV EUROPE LIMITED)
- 2012 1月、タイに IMV (THAILAND) CO., LTD. (子会社)を設立
11月、ドイツに IMV CORPORATION German Sales Office を開設
(現 IMV EUROPE LIMITED German Sales Office)



IMV EUROPE LIMITED



IMV (THAILAND) CO., LTD.



IMV EUROPE LIMITED German Sales Office



IMV株式会社 上海代表所



IMV EUROPE LIMITED European Manufacturing Centre

- 2013 5月、IMV株式会社 上海代表所を設立

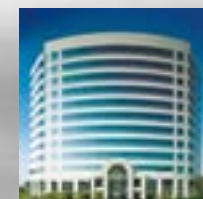
- 2015 1月、英国にIMV EUROPE LIMITED European Manufacturing Centreを開設

- 11月、東京テストラボ 上野原サイト 高度試験センターを開設

- 2016 4月、米国にIMV America, Inc.(子会社)を開設



東京テストラボ 上野原サイト 高度試験センター



IMV America, Inc.



[SECURE THE FUTURE]



IMVが見守る未来

IMVは1957年の設立以来、振動問題のソリューションパートナーとしてさまざまな分野と携わってきました。これからも、製品→パートナー→社会に対して、信頼を形にする企業であり続けます。

Future

安全を見つめて未来の社会に貢献します。

IMV work with our customers and investors to secure their future, developing the products, skills and resources that will bring success. IMV appreciate this and work fast to meet our Partners' future needs.

Integrity

誠実で開かれたパートナーシップを大切にします。

IMV treat our customers, suppliers and investors with the highest of integrity, dealing with all our partners in an open and honest manner. IMV work hard to earn and keep your trust.

Reliability

製品とサービス、すべてに信頼を作り込みます。

Our customers use IMV's products to ensure reliability and performance. We build this reliability into all our products and services. IMV will be there when you need us.

Strength

振動技術の世界リーダーとして経営基盤を強化します。

IMV's financial strength means we will be a long-term partner for our customers and able to invest in the research for new products. IMV have the strength in finances, products and people to serve our customers on a global basis. We have the strength to be the World's Number 1 Vibration Test and Measurement Company.

Technology

顧客ニーズに俊敏に応える技術を開発します。

IMV invest substantially in research to understand our Customers' needs and the products to meet those needs. IMV have been the first to market with many new products and technologies and we will continue to lead the market through technology and innovation for the benefit of our customers and investors.